

消防団たずね歩き

神戸港の安全を守る

「みなと分団」

神戸市水上消防団は、1本団4分団で組織され、我々のみなと分団はその内の1分団にあたります。

管轄区域は、ポートアイランド北西部の港島2丁目～南東部の港島9丁目及び港島中町1丁目までとなっており、管轄区域内には各企業の物流センター、上屋・倉庫、コンテナヤードなどの港湾施設が中心の区域となっており、他の分団と違い区域内には住宅が無いという特徴があります。

団員数は総数20名で、港を熟知した企業の社員を中心とした団員で構成され、日夜神戸港の安全を守るという気概を持って活動しています。

「活動内容紹介」

管轄区域内における災害出動経験はありませんが、年始の行事である神戸市消防出初式での放水、みなとこうべ海上花火大会や神戸マラソン大会等のイベント警備などに従事し、参加者や会場の安全に貢献しています。

令和4年1月に実施された神戸市消防出初式では、リアルタイムの動画配信がされたことから、団員らで安心・安全な町を祈念しながら視聴しました。

「分団の現状」

小生は平成14年に入団して、はや20年が経過し団員の半数以上が同年代である事から年齢層が上がってきており、若手団員

の積極的な入団・育成が責務であると感じています。

「最後に」

神戸港におきましては、震災以降色々な施設が建設され、過去とは全く違う地域に変貌を遂げています。

常に変わりゆく変化に柔軟に対応しながら、安心・安全を念頭にこれからも活動に邁進していきます。

(水上消防団みなと分団分団長 中村博信)

